

油入変圧器の現地診断装置（参考出展）

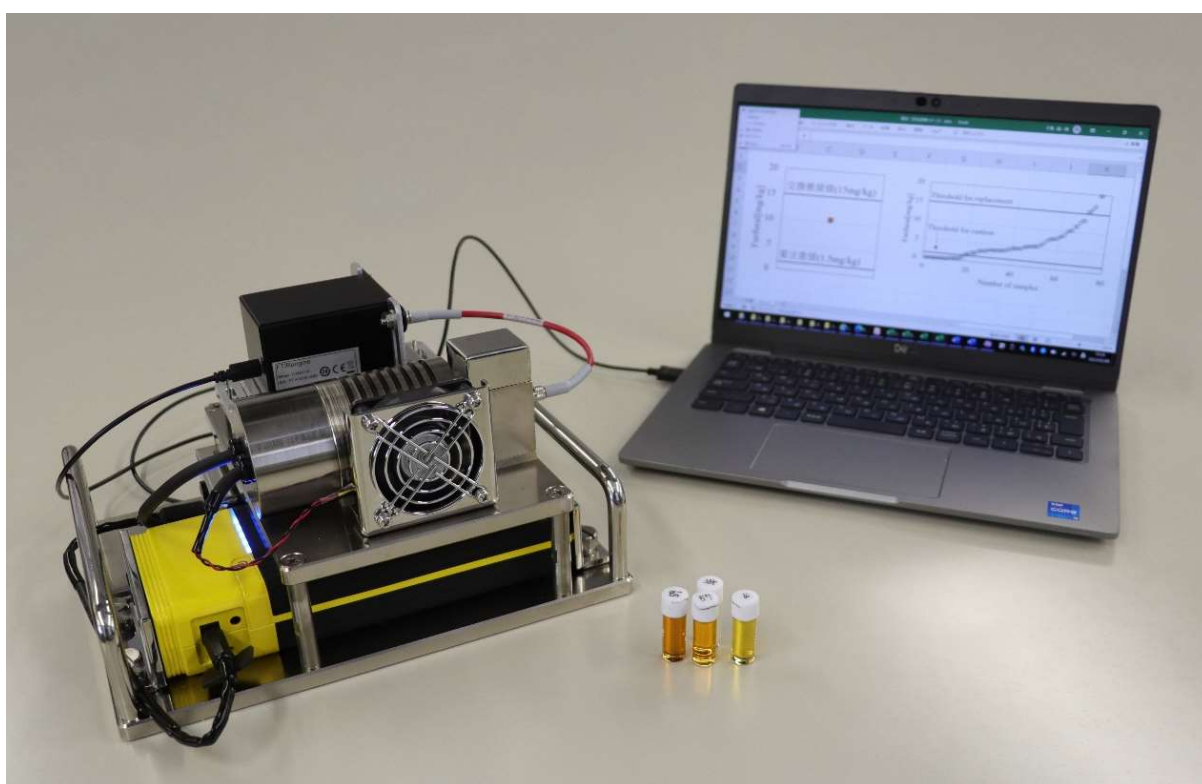
油入変圧器の劣化診断手法として、変圧器内の絶縁材料である絶縁紙の劣化によって、絶縁油中に生成されるフルフラールと言われる物質の含有量を測定する方法が用いられますが、測定には時間と費用がかかります。

本装置は、変圧器から採取した絶縁油に光を照射することで得られる近赤外光の弱まり度合い（吸光度）を分析することで、フルフラールの含有量を推定して劣化度合いを診断します。

現場で簡単かつ短時間での劣化診断が可能です。

特徴

- ・採油量は従来の1%未満、現場到着から約10分で診断可能
- ・絶縁油を装置にセットし、ソフトを起動するだけでフルフラール含有量を推定



△診断装置外観

測定		
フルフラール推定値		
4.0	mg/kg	判定
		交換推奨
		測定
		ファイル出力
測定結果一覧表		
検体 No. / 推定 F F (mg/kg) / コメント		
.		
.		
.		
		メニュー

△診断ソフト画面（イメージ）

問い合わせ先：株式会社トーエネック 技術研究開発部 052-619-1707